

令和6年度 伊豆スカイライン 新亀石料金所 建築工事

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
	意匠図	A-31	シングルブース 電気設備図(2) 1/20	S-14	軸組図1 1/100
A-00	表紙	A-32	ロングブース 仕上表・伏図・詳細図 1/20	S-15	軸組図2 1/100
A-01	図面リスト	A-33	ロングブース 立面図 1/20	S-16	基礎・基礎梁リスト 1/40
A-02	建築工事特記仕様書(1)	A-34	ロングブース 立面図・建具表 1/20	S-17	鉄骨部材リスト(1) 1/40
A-03	建築工事特記仕様書(2)	A-35	ロングブース 平面図・床伏図・詳細図 1/20	S-18	鉄骨部材リスト(2) 1/40
A-04	建築工事特記仕様書(3)	A-36	ロングブース 内観図 1/20	S-19	X1通鉄骨架構詳細図 1/40
A-05	建築工事特記仕様書(4)	A-37	ロングブース 電気設備図(1) 1/20	S-20	部分詳細図 1/30
A-06	建築工事特記仕様書(5)	A-38	ロングブース 電気設備図(2) 1/20	S-21	天井下地受伏図・天井受伏図 1/100
A-07	建築工事特記仕様書(6)	A-39	ブース 部分詳細図 1/20	S-22	天井・外壁受材軸組図1 1/100
A-08	建築工事特記仕様書(7)	A-40	雑詳細図 1/5	S-23	天井・外壁受材軸組図2 1/100
A-09	建築工事特記仕様書(8)	A-41	休憩所 1階平面図・立面図・屋根伏図 1/100	S-24	天井・外壁受材軸組図3 1/100
A-10	建築工事特記仕様書(9)	A-42	休憩所 1階平面詳細図・断面図 1/50		
A-11	施工条件特記仕様書	A-43	休憩所 基礎伏図・土台伏図 1/50		電気設備図
A-12	案内図・公図写 1/900	A-44	休憩所 梁伏図・小屋伏図 1/50	E-01	電気設備工事特記仕様書(1)
A-13	敷地求積図・建物求積図 1/500	A-45	休憩所 天井伏図・建具表 1/50	E-02	電気設備工事特記仕様書(2)
A-14	全体配置図 1/600	A-46	休憩所 展開図 1/100	E-03	配置図・外構図 1/300
A-15	配置図 1/200	A-47	外構図 1/200	E-04	ブース周り幹線設備図 1/100
A-16	仕上表	A-48	総合仮設計画図 1/200	E-05	ブース周り電灯設備図 1/100
A-17	料金所 1階平面図 1/100			E-06	ブース周り電灯盤図 1/100
A-18	料金所 立面図 1/100	S-01	構造設計標準仕様	E-07	照明器具姿図
A-19	料金所 断面図NO, 1 1/50	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)		機械設備図
A-20	料金所 断面図NO, 2 1/50	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)		
A-21	料金所 矩計図 1/20	S-04	鉄骨構造標準図(1)	M-01	機械設備工事特記仕様書(1)
A-22	料金所 屋根伏図・天井伏図 1/100	S-05	鉄骨構造標準図(2)	M-02	機械設備工事特記仕様書(2)
A-23	アイランド部分詳細図 1/50	S-06	ベースパック柱脚工法 設計施工標準図	M-03	冷暖房換気設備 機器表・休憩所平面図 1/50
A-24	プロテクター詳細図(1) 1/20	S-07	NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】	M-04	給排水衛生設備 既存屋外配管図 1/300
A-25	プロテクター詳細図(2) 1/20	S-08	NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編・別表1/3】	M-05	給排水衛生設備 改修屋外配管図 1/300
A-26	ブース 特記仕様書	S-09	NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編・別表2/3】	M-06	給排水衛生設備 休憩所平面図 1/50
A-27	シングルブース 仕上表・伏図・詳細図 1/20	S-10	NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編・別表3/3】	M-07	給排水衛生設備 休憩所 合併処理浄化槽図 1/30
A-28	シングルブース 立面図・建具表 1/20	S-11	スクリーパイルEAZET-Ⅱ 設計施工標準		
A-29	シングルブース 平面図・床伏図・内観図 1/20	S-12	杭伏図・基礎伏図 1/100		
A-30	シングルブース 電気設備図(1) 1/20	S-13	R階伏図・母屋伏図 1/100		

3章 土工事
1 埋戻し及び盛土
2 建設発生土の処理
3 建設汚泥の処理
4 設計耐力
5 山留め
4章 地業工事
1 支持地盤等
2 既設コンクリート杭地業
セメントの種類
砂利事業
捨コンクリート地業
床下防湿層
地盤改良工法

3 鋼杭地業
鋼杭の材料
杭の種類、寸法、継手等
物定連込杭工法
場所打ちコンクリート杭地業
寸法等
鉄筋の種類
セメントの種類
砂利事業
捨コンクリート地業
床下防湿層
地盤改良工法

5章 鉄筋工事
1 鉄筋
2 溶接金網
3 鉄筋の継手
4 鉄筋の定着
5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)
6 各部配筋
7 ガス圧接合
8 機械式継手

9 溶接継手
10 無筋コンクリート
11 遮音材
12 遮音板
13 遮音工

11 流動化コンクリート (6.15.1)
適用箇所 図示による

12 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)
打継ぎの位置 標準仕様書6.6.4(1)による
目地寸法 標準仕様書9.7.3(1)(7)による
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 図示

13 構造体コンクリートの仕上り (6.2.5)
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ
合板の種別
合板の厚さ
合板の取付け

14 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1)
打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
20mm
打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
10mm 20mm

15 型枠 (6.8.2)
せき板の材料及び厚さ 合板[C] 12mm
断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 図示
MCR工法用材 適用箇所 図示
打増し厚さ 20mm
打増し幅 図示による
ジョイントの材質・規格等 図示

16 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2)
実施要領 図示

17 耐震スリット (6.8.2)
方向
断面形状
高さ
幅
設置位置

7章 鉄骨工事 (7.1.3)
1 鉄骨の製作工場 (7.1.3)
建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場 (M)ランク以上
監督職員の承諾する製作工場

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者 (7.1.4)
配置する 図示しない

3 鋼材の種類等 (7.2.1) (7.2.10)
種類等

4 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2) (7.4.2) (7.12.5)
ボルトの種類 H型高力ボルト
ボルトの先端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 図示
摩擦面の処理方法 標準仕様書7.4.2(1)による

5 普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.3.8)
ボルト及びワッシャの材質 標準仕様書7.2.3(JIS付属書品)又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材質は鋼とする
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの径の最大寸法は、ボルト径の値以下とする
ワッシャの規格は、JIS B 1181とする
ワッシャの種類は、六角ワッシャとし、材質は鋼とする

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト (7.3.2) (7.4.2) (7.12.5)
ボルトの先端距離、ボルトの間隔、ゲージ等 図示による
摩擦面の処理方法 ガラス処理(表面粗度5μmR以上) りん酸塩処理

7 アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2)
構造用アンカーボルトの種類 ABR400 ABR490
建方用アンカーボルトの種類 SS400
アンカーボルト及びワッシャのねじの公差域及び仕上げの程度 標準仕様書7.2.3による

8 溶接材料 (7.2.5)
溶接材料 標準仕様書7.2.5(1)(2)による

9 ターンバックル (7.2.6)
種類 建築用ターンバックルボルト 羽子板ボルト
建築用ターンバックル鋼 製棒式
ねじの呼び 図示

10 床構造用のデッキプレート (7.2.7) (7.7.8)
材質、形状及び寸法

11 スタッド (7.2.8)
呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所

12 柱底均しモルタル (7.2.9)
無収縮モルタルとする場合の材料、割合等 標準仕様書7.2.9(2)(7)から(5)による

13 製作精度 (7.3.3)
鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準] に加えて、次による
通しゲージの突合せ継手の食い違いの寸法 H12建告第1464号第二号イ(2)による

14 仮組 (7.3.10)
仮組を行う範囲 図示による

15 溶接作業における技能資格者の技量付加試験 (7.6.3)
溶接作業者の技量付加試験 行わない 行う
試験の要領 図示

16 溶接接合 (7.6.4) (7.6.7)
開先の形状 図示による
鋼製ワッシャを切断する部分 切断する箇所 図示
切断範囲 鋼製ワッシャ、異径等時は、梁ワッシャの端から5mm以下を残して直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差点を角切りに加工する。
切断面の仕上げ 標準仕様書7.6.7(1)(4)(b)による
スタッドの形状 図示
因形ワッシャの使用 図形ワッシャを使用する場合はAW検査技能会議の実施する認定試験の合格者若しくは、日本鋼材協会の実施する施工講習会受講者が施工すること。
低応力高伸び疲労をうける部位 有り 位置 図示

17 入熱、パス間温度の溶接条件 (7.6.7) (7.6.10)
鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 図示
適用箇所 柱、梁、ブレースのワッシャ 端部の完全溶込み溶接部

18 溶接部の試験 (7.6.12)
平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等
突合せ溶接継手の食い違い仕口のずれの検査・補強方法 3.5.2 受入検査による
抜き取り検査① 抜き取り検査②
JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準] の付表3「溶接」に関する試験方法等
JASS 6 10.4 [受入検査] c. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、全て標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込み部の超音波探傷試験 行う 行わない
工場溶接の場合 AOQL(%) 4.0 2.5
現場溶接の場合 図示

19 錆止め塗装 (7.8.2, 4) (18.3.2)
塗装の範囲 図示
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 図示
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 標準仕様書7.8.2(1)(7)～(4)による
塗料の種類 下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 A種
耐火被覆材が溶接する面の塗料の種類 図示

20 耐火被覆 (7.9.2)～(7.9.8)
種類、材料、工法等

21 アンカーボルトの設置等 (7.10.3)
構造用アンカーボルトの形状及び寸法 図示による
構造用アンカーボルトの形状及び寸法 図示による
建方用アンカーボルトの形状及び寸法 図示による
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 図示による
種別 A種 B種
柱底均しモルタルの厚さ及び仕上げの種別 厚さ 種別 A種 B種

22 軽量形鋼構造 (7.11.2)
ボルトの接合部 普通ボルト接合

8章 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.7) (8.2.8)
1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3) (8.2.5) (8.2.7) (8.2.8)
ブロックの種類等

2 コンクリートブロック幅壁及び扉 (8.3.2)～(8.3.4)
ブロックの種類等

3 ALCパネル (8.4.2)～(8.4.5)
ALCの種類等

4 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2)～(8.5.5)
ECPの種類等

9章 防水工事 (9.2.2)～(9.2.5) (表9.2.3)～(表9.2.9)
1 アスファルト防水 (9.2.2)～(9.2.5) (表9.2.3)～(表9.2.9)
【屋根保水防水】
防水層の種類

改質アスファルト防水の種類及び厚さ 標準仕様書9.2.3から表9.2.4による
JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 非露出単層防水用 非露出複層防水用
材料による区分 R種
厚さ(mm以上) :

部分粘着層付改質アスファルト防水の種類及び厚さ 標準仕様書9.2.5から表9.2.8による
JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 非露出単層防水用 非露出複層防水用
材料による区分 R種
厚さ(mm以上) :

立上り部への断熱材及び絶縁シート 設置しない 設置する
平場の保護コンクリートの厚さ 全て仕上げ 水下80mm以上
床材の張り 水下60mm以上

立上りの保護工法 乾式保護材(品質・性能、試験方法は別表による) 照葉系系材 厚さ(mm) : 幅(mm) :
レンガが押え JIS R 1250
コンクリート押え
砂が押え(屋内)

【屋根露出防水】
防水層の種類

改質アスファルト防水の種類及び厚さ 標準仕様書9.2.8による
JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 露出単層防水用 露出複層防水用
材料による区分 R種
厚さ(mm以上) :

部分粘着層付改質アスファルト防水の種類及び厚さ 標準仕様書9.2.7から表9.2.8による
JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 露出単層防水用 露出複層防水用
材料による区分 R種
厚さ(mm以上) :

絶縁断熱工法及び防水材の回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 設置数量 アスファルト防水類の製造所の指定 () 個

【屋内防水】
防水層の種類

2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2) (9.3.3) (表9.3.1)～(表9.3.3)
【屋根露出防水】
防水層の種類

改質アスファルト防水の種類及び厚さ 標準仕様書9.3.1から表9.3.3による
JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
厚さ(mm以上) :

粘着層付改質アスファルトの種類及び厚さ 標準仕様書9.3.2から表9.3.3による
JIA A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 R種
厚さ(mm以上) :

部分粘着層付改質アスファルトの種類及び厚さ
 標準仕様書表9.3.2から表9.3.3(1)による
 JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
 用途による区分
 材料による区分
 厚さ(mm以上) :
 立上り部の抑え金物の材質、形状及び寸法
 鋼線工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
 種類
 設置数量

3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2)~(9.4.4)(表9.4.1)~(表9.4.3)
 防水層の種類

種別	施工箇所	防水層の種類	防水層の構造	防水層の厚さ	防水層の材質	防水層の施工	防水層の検査
S-F1	床	合成高分子系ルーフィングシート	単層	2.0mm	ポリイソプレン系	接着剤による接着	目視
S-F2	床	合成高分子系ルーフィングシート	単層	2.0mm	ポリイソプレン系	接着剤による接着	目視
S-M1	壁	合成高分子系ルーフィングシート	単層	2.0mm	ポリイソプレン系	接着剤による接着	目視
S-M2	壁	合成高分子系ルーフィングシート	単層	2.0mm	ポリイソプレン系	接着剤による接着	目視

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
 SI-M1及びSI-M2における防塵用フィルム

【屋内防水】
 防水層の種類

種別	施工箇所	防水層の種類	防水層の構造	防水層の厚さ	防水層の材質	防水層の施工	防水層の検査
S-F1	床	合成高分子系ルーフィングシート	単層	2.0mm	ポリイソプレン系	接着剤による接着	目視

標準のモルタル床張りにおける目地の目地および種類
 目地割
 目地の種類
 合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
 標準仕様書表9.4.1から表9.4.3(1)による
 種類
 厚さ(mm以上) :
 固定金具の材質、形状及び寸法
 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
 種類
 設置数量
 接着工法の場合のアクリルコンクリート部材下地の目地処理
 行う
 図示
 行わない
 アクリルコンクリート部材の人間部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)
 行う
 図示
 行わない
 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
 1層 適用区分による風圧力の() 倍の風圧力に対応した工法

4 塗膜防水 (9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)
 防水層の種類

種別	施工箇所	防水層の種類	防水層の構造	防水層の厚さ	防水層の材質	防水層の施工	防水層の検査
S-1	床	塗膜防水	単層	2.0mm	エポキシ系	刷毛塗り	目視
S-2	床	塗膜防水	単層	2.0mm	エポキシ系	刷毛塗り	目視
S-3	床	塗膜防水	単層	2.0mm	エポキシ系	刷毛塗り	目視
S-4	床	塗膜防水	単層	2.0mm	エポキシ系	刷毛塗り	目視

5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.4)(表9.6.1)
 防水層の下地

塗布防水の種類
 種類
 設置数量
 主材料の製造所の仕様
 主材料の製造所の仕様

6 シーリング (9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)(表9.7.1)
 下地以外、標準仕様書表9.7.1(1)による

シーリングの種類	シーリングの仕様	シーリングの施工	シーリングの検査
シーリング	標準仕様書表9.7.1(1)による	シーリング材の目地寸法	目視

7 外壁工法 (10.2.2)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4)
 乾式工法による金物の種類、形状、寸法等

外壁工法の種類	外壁工法の仕様	外壁工法の施工	外壁工法の検査
外壁工法	標準仕様書表10.2.4(1)による	金物の種類、形状、寸法等	目視

8 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)
 浸透性吸水防水剤

床及び階段の石張りの種類	床及び階段の石張りの仕様	床及び階段の石張りの施工	床及び階段の石張りの検査
床及び階段の石張り	標準仕様書表10.6.2(1)による	浸透性吸水防水剤	目視

9 管束、甲板等の石張り (10.2.2)(10.7.1)(10.7.2)
 取付工法

管束、甲板等の石張りの種類	管束、甲板等の石張りの仕様	管束、甲板等の石張りの施工	管束、甲板等の石張りの検査
管束、甲板等の石張り	標準仕様書表10.2.2(1)による	取付工法	目視

10 壁工法 (10.1.3)
 石材の割付け

壁工法の種類	壁工法の仕様	壁工法の施工	壁工法の検査
壁工法	標準仕様書表10.1.3(1)による	石材の割付け	目視

11 床工法 (10.2.1)(10.2.3)(表10.2.1)(表10.2.2)
 天然石

床工法の種類	床工法の仕様	床工法の施工	床工法の検査
床工法	標準仕様書表10.2.1(1)による	天然石	目視

12 外壁工法 (10.2.2)(10.2.3)(10.3.2)(10.3.3)
 受金物

外壁工法の種類	外壁工法の仕様	外壁工法の施工	外壁工法の検査
外壁工法	標準仕様書表10.2.2(1)による	受金物	目視

13 内壁空積工法 (10.2.2)(10.4.2)(10.4.3)
 受金物

内壁空積工法の種類	内壁空積工法の仕様	内壁空積工法の施工	内壁空積工法の検査
内壁空積工法	標準仕様書表10.2.2(1)による	受金物	目視

14 タイル工法 (11.1.3)(表11.1.1)
 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

タイル工法の種類	タイル工法の仕様	タイル工法の施工	タイル工法の検査
タイル工法	標準仕様書表11.1.1(1)による	伸縮調整目地	目視

15 見本焼き、試験施工 (11.2.2)(11.2.3)(11.2.6)(11.2.7)
 見本焼き

見本焼きの種類	見本焼きの仕様	見本焼きの施工	見本焼きの検査
見本焼き	標準仕様書表11.2.2(1)による	見本焼き	目視

16 セメントモルタルによるタイル張り (11.3.2)~(11.3.6)
 タイルの形状、寸法等

セメントモルタルによるタイル張りの種類	セメントモルタルによるタイル張りの仕様	セメントモルタルによるタイル張りの施工	セメントモルタルによるタイル張りの検査
セメントモルタルによるタイル張り	標準仕様書表11.3.2(1)による	タイルの形状、寸法等	目視

17 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2)~(11.3.6)
 タイルの形状、寸法等

有機系接着剤によるタイル張りの種類	有機系接着剤によるタイル張りの仕様	有機系接着剤によるタイル張りの施工	有機系接着剤によるタイル張りの検査
有機系接着剤によるタイル張り	標準仕様書表11.3.2(1)による	タイルの形状、寸法等	目視

18 目地のシーリング材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 打継ぎ目地

目地のシーリング材の種類	目地のシーリング材の仕様	目地のシーリング材の施工	目地のシーリング材の検査
目地のシーリング材	標準仕様書表12.2.1(1)による	打継ぎ目地	目視

19 製材 [G] (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 県内産木材の適用がない場合でも可能な範囲で県内産木材の使用に努めること

製材 [G]の種類	製材 [G]の仕様	製材 [G]の施工	製材 [G]の検査
製材 [G]	標準仕様書表12.2.1(1)による	製材 [G]	目視

20 JAS 1083-6 製材-第5部に基づく下地用製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 施工箇所

JAS 1083-6 製材-第5部に基づく下地用製材の種類	JAS 1083-6 製材-第5部に基づく下地用製材の仕様	JAS 1083-6 製材-第5部に基づく下地用製材の施工	JAS 1083-6 製材-第5部に基づく下地用製材の検査
JAS 1083-6 製材-第5部に基づく下地用製材	標準仕様書表12.2.1(1)による	施工箇所	目視

21 JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 施工箇所

JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材の種類	JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材の仕様	JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材の施工	JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材の検査
JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材	標準仕様書表12.2.1(1)による	施工箇所	目視

22 JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 施工箇所

JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材の種類	JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材の仕様	JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材の施工	JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材の検査
JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材	標準仕様書表12.2.1(1)による	施工箇所	目視

23 JAS 1083-6 製材-第6部に基づく針葉樹製材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 施工箇所

JAS 1083-6 製材-第6部に基づく針葉樹製材の種類	JAS 1083-6 製材-第6部に基づく針葉樹製材の仕様	JAS 1083-6 製材-第6部に基づく針葉樹製材の施工	JAS 1083-6 製材-第6部に基づく針葉樹製材の検査
JAS 1083-6 製材-第6部に基づく針葉樹製材	標準仕様書表12.2.1(1)による	施工箇所	目視

24 造作用集成材 [G] (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 施工箇所

造作用集成材 [G]の種類	造作用集成材 [G]の仕様	造作用集成材 [G]の施工	造作用集成材 [G]の検査
造作用集成材 [G]	標準仕様書表12.2.1(1)による	施工箇所	目視

25 「集成材の日本農林規格」による化能ばり造作用集成材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 施工箇所

「集成材の日本農林規格」による化能ばり造作用集成材の種類	「集成材の日本農林規格」による化能ばり造作用集成材の仕様	「集成材の日本農林規格」による化能ばり造作用集成材の施工	「集成材の日本農林規格」による化能ばり造作用集成材の検査
「集成材の日本農林規格」による化能ばり造作用集成材	標準仕様書表12.2.1(1)による	施工箇所	目視

26 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 施工箇所

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材の種類	「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材の仕様	「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材の施工	「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材の検査
「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材	標準仕様書表12.2.1(1)による	施工箇所	目視

27 造作用厚板積層材 [G] (12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)
 施工箇所

造作用厚板積層材 [G]の種類	造作用厚板積層材 [G]の仕様	造作用厚板積層材 [G]の施工	造作用厚板積層材 [G]の検査
造作用厚板積層材 [G]	標準仕様書表12.2.1(1)による	施工箇所	目視

1. IAS 0701以外の造作用単板積層材
2. IAS 3079に基づく直交集成板[C]
3. 合板等
4. 合板の日本規格規格
5. 合板の日本規格規格
6. 合板の日本規格規格
7. 接合具等
8. 接着剤

9. 防湿・防蟻処理
10. 内部間仕切輪組及び床組み
11. 窓、出入口その他
12. 床板張り
13. 壁及び天井下地
13章 屋根及びとい工事
1. 長尺金属板葺き
2. 折板葺き
3. 粘土瓦葺き

14章 金属工事
1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
2. 鉄鋼の亜鉛めっき
3. 軽量鉄骨天井下地
4. 軽量鉄骨壁下地
5. 金属成形板張り
6. アルミニウム製笠木
7. エキスパンションジョイント金物

15章 左官工事
1. モルタル塗り
2. ラス系下地
3. せっこうボード、その他のボード下地
4. こまい下地
5. 木張り下地
6. 仕上塗材仕上げ
7. マスチック塗材塗り
8. ロックウール吹付け
9. しっくい塗り

10 こまい壁塗り (15.11.2)~(15.11.5)(15.11.7)(15.11.8)

16章 建具工事

1 防火戸 (16.1.3)

2 見本の製作等 (16.1.4)

3 防犯建物部品 (16.1.6)

4 アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表14.2.1)(表16.2.1)(表16.2.2)

4 網戸等 (16.2.3)

5 樹脂製建具 (16.2.5)(16.3.2)~(16.3.5)(表16.3.1)

6 鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2)~(16.4.4)(表16.4.2)

7 鋼製軽量建具 (16.2.2)(16.5.2)~(16.5.4)

8 ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2)~(16.6.5)

9 木製建具 (16.7.2)~(16.7.4)

10 建具用金物 (16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1)~(表16.8.5)

11 鍵 (16.8.4)

12 自動ドア開閉装置 (16.9.2)(16.9.3)

引き戸用検出装置

引き戸用検出装置の種類(標準仕様書表16.9.4)

13 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1)

14 重量シャッター (16.11.2)(16.11.3)

15 軽量シャッター (16.12.2)(16.12.3)(16.12.4)

16 オーバーヘッドドア (16.13.2)(16.13.3)

17 ガラス (9.7)(16.14.2)~(16.14.4)(図16.14.1)

18 ガラスブロック (16.14.5)

19 ガラス用フィルム

20 カーテンウォール工事 (17.1.3)

20章 ユニットのほかの工事

1 フリーアクセスフロア (20.2.2)
Table with 7 columns: 窓1階が, 1階, 寸法, 高さ, 仕様, 指定業者, 表示仕上材, 備考

寸法精度
標準仕様書20.2.2(2)(a)~(c)による
以下による
パネ長さの寸法精度
パネの平面形状(角座)の寸法精度
フリーアクセスの高さの寸法精度
常電防止性能
感電防止性能

2 可動間仕切り (20.2.3)
Table with 5 columns: 可動形式による種類, 構造部材の種類, 表示仕上材, 操作性, 耐火性

が室内に取り付ける建具
が室内に取り付ける家具とのクリアランス
表示仕上材を電線張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

3 移動間仕切り (20.2.4)
Table with 6 columns: 走行方向, 可動形式による種類, 工法, 操作性, 耐火性, 備考

が表面仕上げ材の電線張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
がカーテンの取付け下地の補強
取付け金重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する

4 トイレブース (20.2.5)
Table with 3 columns: 吹き抜けの可否, 用途, 仕様

が重量の5倍の荷重を、パネ1枚に使用する枚数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
(品質・性能は別表による)

6 手すり (20.2.6)
Table with 5 columns: 材質, 形状, 寸法, 取付箇所, 備考

材料の種類及び仕上げ
SUS304
表面処理
鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
表面処理(標準仕様書表14.2.21による種別)
F430A
表面処理(標準仕様書表14.2.11による種別)
色合等
標準色
手すりの取り付け部分

6 階段滑り止め (20.2.7)
Table with 5 columns: 材質, 形状, 寸法, 取付箇所, 備考

材質
形状
寸法(幅)
取付け工法

7 黒板及びホワイトボード (20.2.9)
Table with 5 columns: 黒板, ホワイトボード, 仕様, 取付箇所, 備考

黒板
ホワイトボード
取付箇所
寸法(mm)
厚さ(mm)

9 表示 (20.2.11)
Table with 5 columns: 表示の種類, 設置場所, 形状・寸法, 材質, 備考

設置しない
設置場所
形状・寸法
材質

誘導標識、非常用進入口等の表示
消防法に適合する市販品
窓名札、ヒルゲラ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)

10 タラップ (20.2.12)
Table with 5 columns: 材質及び仕上げ, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

材質及び仕上げ
寸法
構造
取付箇所
備考

12 ブラインド (20.2.14)
Table with 6 columns: 形式, 操作, 構造, 寸法, 取付箇所, 備考

経路ガイドの材質
ガラスの取付け納装仕上げ
ガラスの遮断
遮断材の種類

13 ロールスクリーン (20.2.15)
Table with 5 columns: 構造, 寸法, 取付箇所, 備考

生地仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
遮断材の種類

15 カーテンレール (20.2.16)
Table with 5 columns: 材質, 形状, 寸法, 取付箇所, 備考

16 グラウドボックス及びヒルゲラボックス (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

構造
寸法
取付箇所
備考

17 天井点検口 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

寸法
構造
取付箇所
備考

18 床点検口 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

19 耐震ジョイント (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

20 止水板 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

21 エキスパンションジョイント金物 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

22 くつろぎマット (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

23 流し台ユニット (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

材質
寸法
構造
取付箇所
備考

24 鏡 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

25 鏡裏金物 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

26 車上のさく (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

27 フェンス (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

28 ブレキャストコンクリート (20.2.3)(20.3.4)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

29 間知石及びコンクリート間知石 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

30 鋼製書架及び物品棚 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

31 屋内掲示板 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

32 洗面カウンター (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

33 防煙垂れ壁 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

34 屋外掲示板 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

35 収納家具 (20.2.16)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

建設工事名
令和6年度 伊豆スカイライン 新亀石料金所新築工事

21章 排水工事 (21.2.1)(21.2.2)(表21.2.1)(表21.2.2)

1 屋外雨水排水 (21.2.1)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

基礎の厚さ及び種類
破管防止塩化ビニル管の継手に用いる材料
継手の形状及び寸法
排水樋の種類
砂利地業に用いる材料
砂利地業に用いる材料
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基礎強度(N/mm2)
スラブ(cm)
現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
排水樋が現場打ちの場合の足掛け金物
排水樋の材質
凍上抑制層に用いる材料
砂を用いる場合の粒度試験

2 錆鉄製ふた (21.2.1)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

3 グレーチング (21.2.1)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

4 街灯、鏡石及び倒溝 (21.2.1)(21.2.2)(表21.2.1)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

5 埋戻し土 (21.2.1)
Table with 5 columns: 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

22章 舗装工事 (22.2.2)(22.2.3)(22.2.4)(22.2.5)(表22.2.1)
1 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

2 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

3 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

4 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

5 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

6 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

7 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

8 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

9 路床 (22.2.2)
Table with 5 columns: 材質, 寸法, 構造, 取付箇所, 備考

建設工事名
令和6年度 伊豆スカイライン 新亀石料金所新築工事

2 路盤
路盤の厚さ 図示
路盤材料(標準仕様書表22.3.11による種別)

3 アスファルト舗装
アスファルト舗装の構成及び厚さ 図示
材料
アスファルト 再生アスファルト[G]
標準仕様書表22.4.11による種類 60~80 80~100
骨材 ストアスファルト
道路用砕石
アスファルトコンクリート再生骨材[G]
加熱アスファルト混合物等の種類 密粒度アスファルト混合物(13)
細粒度アスファルト混合物(13F)
舗装の平坦性 通行の支障となる水溜まりを生じない程度
試験 アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない

4 コンクリート舗装
コンクリート舗装の構成及び厚さ
材料
コンクリート 普通コンクリート、標準仕様書表22.5.11による以下による
コンクリートの種類 設計基準強度(N/mm²) 所定のスラブ(cm) 骨骨材の最大寸法(mm)
早強ポルトランドセメント 使用する 低弾性タイプ 高弾性タイプ
目地 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.11による 図示
種類 間隔 m以内毎
構造 図示
舗装の平坦性 通行の支障となる水たまりを生じない程度

5 カラー舗装
加熱系カラー舗装 構成・厚さ 図示
加熱系混合物の結合材 アスファルト混合物
石油樹脂系混合物
顔料添加量(%)
添加剤
着色骨材 自然石
常風系カラー舗装 工法 コート工法 配合その他 塗布工法
着色部の下部 アスファルト舗装
コンクリート舗装
舗装の平坦性 通行の支障となる水たまりを生じない程度

6 透水性アスファルト舗装
舗装の構成 図示
材料
骨材 道路用砕石
アスファルトコンクリート再生骨材[G]
標準仕様書表22.4.11による種類 60~80 80~100
舗装の平坦性 著しい不陸がないもの
試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない

7 ブロック系舗装
コンクリート平板舗装[G]
種類
寸法(cm) 厚さ(mm) 骨材 備考
普通型
透水性
凍害防止
歩行者用通路
カラー舗装[G]
種類 寸法 厚さ(mm) 骨材 備考
普通型
透水性
凍害防止
歩行者用通路
カラー舗装[G]
種類 寸法 厚さ(mm) 骨材 備考
普通型
透水性
凍害防止
歩行者用通路

舗石舗装
種類
単位面積質量 60g/m²以上
厚さ(mm) 0.5~1.0
引張強さ 98N/5cm(10kxf/5cm)以上
透水係数 1.5×10⁻⁴cm/sec以上
8 砂利敷き
種類
A種 (施工範囲 図示 通路)
B種 (施工範囲 図示 建物周囲その他)
9 路面表示用塗料
路面表示用塗料はJIS K 5665による
種類 施工 適用 備考
低揮発性有機溶剤系の路面標示用水性塗料[G]

23章 植栽及び屋上緑化工事
1 植栽地の確認等
2 植栽基盤の整備
3 植込み用土
4 土壌改良材
5 樹木
6 支柱
7 幹巻き用材料
8 芝
9 吹付けは種
10 地盤改良
11 新植、芝等の枯保移、移植樹木の枯損処置

1 植栽地の確認等
2 植栽基盤の整備
樹木の植栽基盤の整備 適用する 適用しない
樹木の種類 A種 B種 C種 D種
樹高12m以上
100 120 150
樹高7m以上~12m未満
80 100
樹高3m以上~7m未満
60 80
樹高3m未満
50 60
植栽基盤の排水設備 設ける 設けない

3 植込み用土
4 土壌改良材
5 樹木
6 支柱
7 幹巻き用材料
8 芝
9 吹付けは種
10 地盤改良
11 新植、芝等の枯保移、移植樹木の枯損処置

5 樹木
6 支柱
7 幹巻き用材料
8 芝
9 吹付けは種
10 地盤改良
11 新植、芝等の枯保移、移植樹木の枯損処置

7 幹巻き用材料
8 芝
9 吹付けは種
10 地盤改良
11 新植、芝等の枯保移、移植樹木の枯損処置

9 吹付けは種
種類 播種時期 発芽率 播種の量(g/m²) 備考

10 地盤改良
種類 有効成分 適用箇所 備考

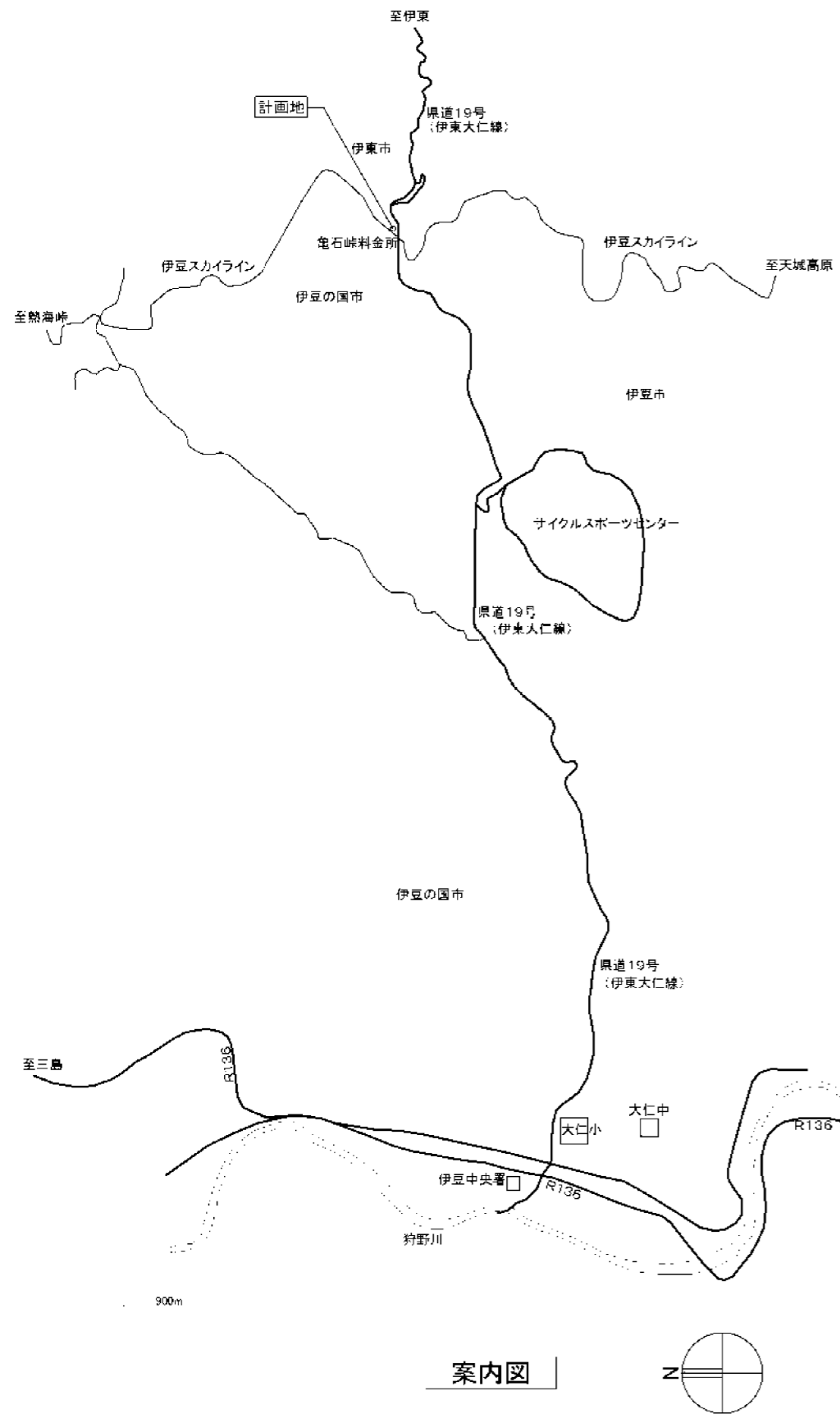
11 新植、芝等の枯保移、移植樹木の枯損処置
新植樹木(芝張り、吹付けは種及び外地被覆を含む)の枯損補填の期間
引渡しの日から1年 無し
移植樹木の枯損処置を行う期間
引渡しの日から1年 無し

12 屋上緑化[G]
植栽基盤及び材料
屋上緑化システム
土壌層の厚さ 図示
排水層 図示
植込み用土 図示
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等 図示
支柱 設置する 形式 図示
かん水装置 設置する 種類 図示
工法 「最低ふき材及び屋外に日する壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1468号)に基づく風圧力に対応した工法 図示

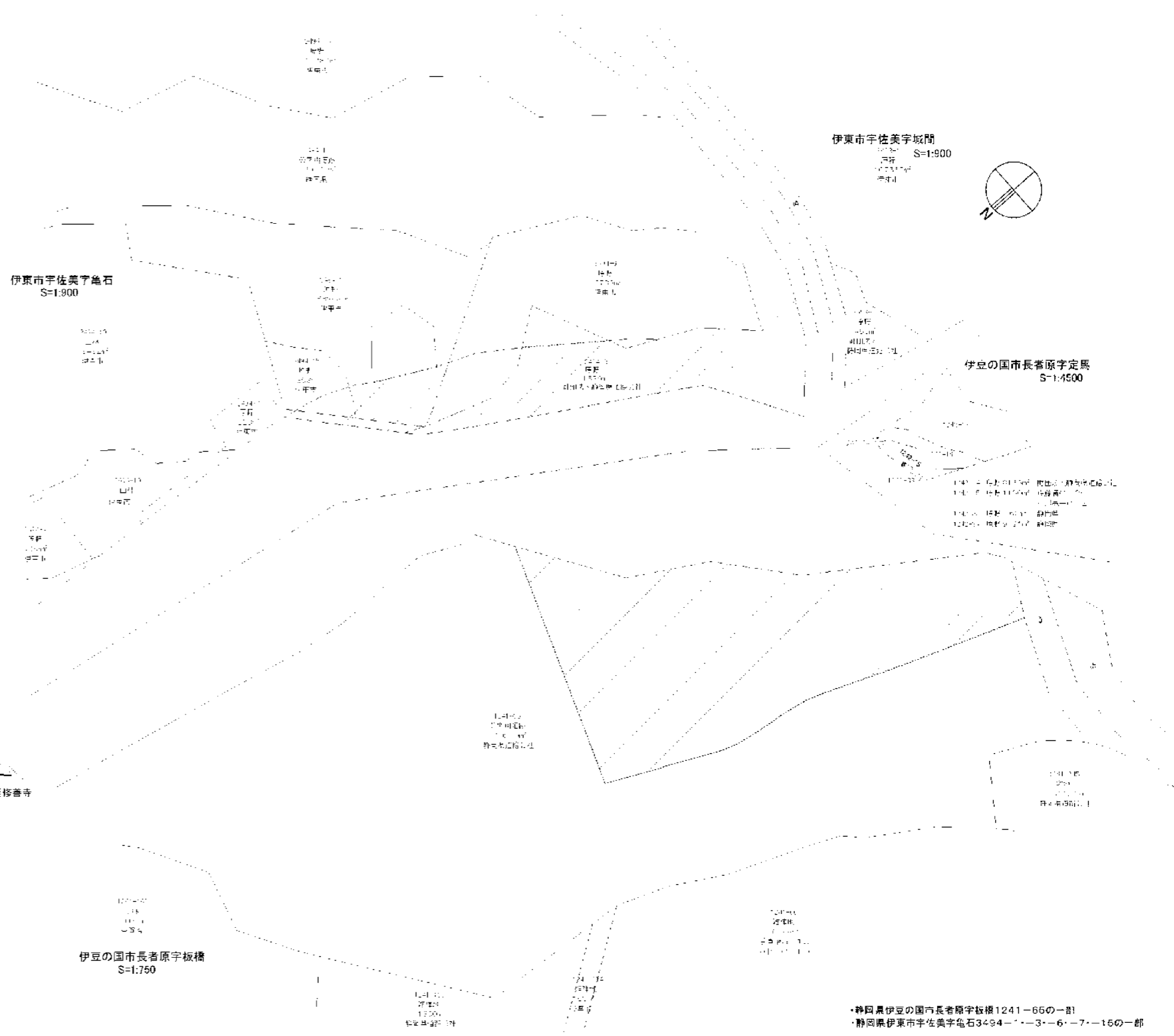
施工条件特記仕様書

下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。
なお、明示事項に変更が生じた場合は、監理職員に報告し、協議するものとする。

適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容
1 工程関係	1 関連工事との調整 ○ 他の工事の開始又は完了の時期により当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分 影響を受ける工事内容 関連する工事内容 関連する工事の開始又は完了の時期	新料金所道路整備工事
2 施工時期、時間の制限	○ 施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容 制限される施工時期・施工時間 制限される施工方法	
3 関係機関等との協議	○ 当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容 協議内容 協議成立見込時期	
4 地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査	○ 工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合 地下埋設物等の移設が予定されている場合	調査項目 調査期間 移設期間	
5 作業不能日数		休日日数以外の作業不能日数	
6 指定部分	○ 工事の規模(範囲)及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模(範囲) 当該工事の工期	現場説明書による。
7 設備工事との調整	○ 完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合	試運転調整等の適正期間の確保 設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること	
2 用地関係	1 仮用地等として所有地の提供	場所・範囲 時間・時期 使用条件 償却方法	
3 公害関係	1 公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止) ○ 2 騒音、振動、地盤沈下、地下水格濁等の防止調査	○ 工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合 工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の格濁等が予測される場合	※使用すべき建設機械の適用については工事特記仕様書による。
3 電波障害等に起因する事業損失防止調査	○ 電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	事前・事後調査の区分 調査時期 未然に防止するための必要な調査方法 未然に防止するための必要な調査範囲	
4 安全対策関係	1 交通安全施設 2 近接施工 3 落石、雪崩、土砂崩落の防護施設 4 交通誘導員の配置 ○ 5 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策	交通安全施設等を指定する場合 指定の内容 指定の期間 制限される施工方法 制限される作業時間帯 防護施設の内容 延べ人数 配置時間 換気設備等の内容	交通誘導員A 30人 交通誘導員B 30人 交通誘導員A 8時～17時まで(8時間) 交通誘導員B 8時～17時まで(8時間)
5 工事用	1 一般道の使用 ○ ○ ○	制限される工事用資機材の搬入経路 制限される使用期間 制限される使用時間帯 使用中・使用後の処置内容	
道路関係	2 仮道路	仮道路を設置する場合	仮設道路の仕様 安全施設等の設置期間 工事終了後の措置
6 仮設備関係	1 仮設備(仮工室、仮橋、足場等)	仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合 仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合 仮設備の設計条件を指定する場合	仮設備の内容 仮設備の期間 仮設備の条件 仮設備の種類 仮設備の構造、施工方法、施工範囲 設計条件の内容
7 建設副産物関係	1 建設発生土の搬出 ○ 2 建設副産物の利用 ○ 3 建設副産物及び建設廃棄物の処理 ○	建設発生土が発生する場合 現場内での再利用又は減量化が必要な場合 建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合 再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合	受入場所及び仮置き場までの距離 処分又は保管条件 現場内利用の内容 減量化の内容 処理方法、処理場所等の処理条件 受入場所、距離等の処理条件
8 工事支障物件等	1 工事支障物件協議	地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等が工事支障物件が存在する場合	支障物件名、管理者名等 支障物件の移設時期 工事方法 協議
9 排水関係	1 排水処理	排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法 排水処理の方法 放流先
10 薬液注入関係	1 薬液注入	薬液注入を行う場合	設計条件 施工工法 材料種類
11 その他	1 工事現場発生品 2 支給材料及び資与品 3 関係機関との近接協議 4 架設工法 5 工事用水、電力 6 新技術・新工法・特許工法 7 部分使用	工事現場発生品がある場合 支給材料及び資与品がある場合 架設工法を指定する場合 工事用水を指定する場合 工事電力を指定する場合 新技術・新工法・特許工法を指定する場合 部分使用を行う必要がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所 品名・数量・品質 規格又は性能 引渡場所・引渡期間 近接協議に係る条件及び内容 施工方法 施工条件 工事用水の内容 工事電力の内容 工法の内容 部分使用箇所 部分使用時期

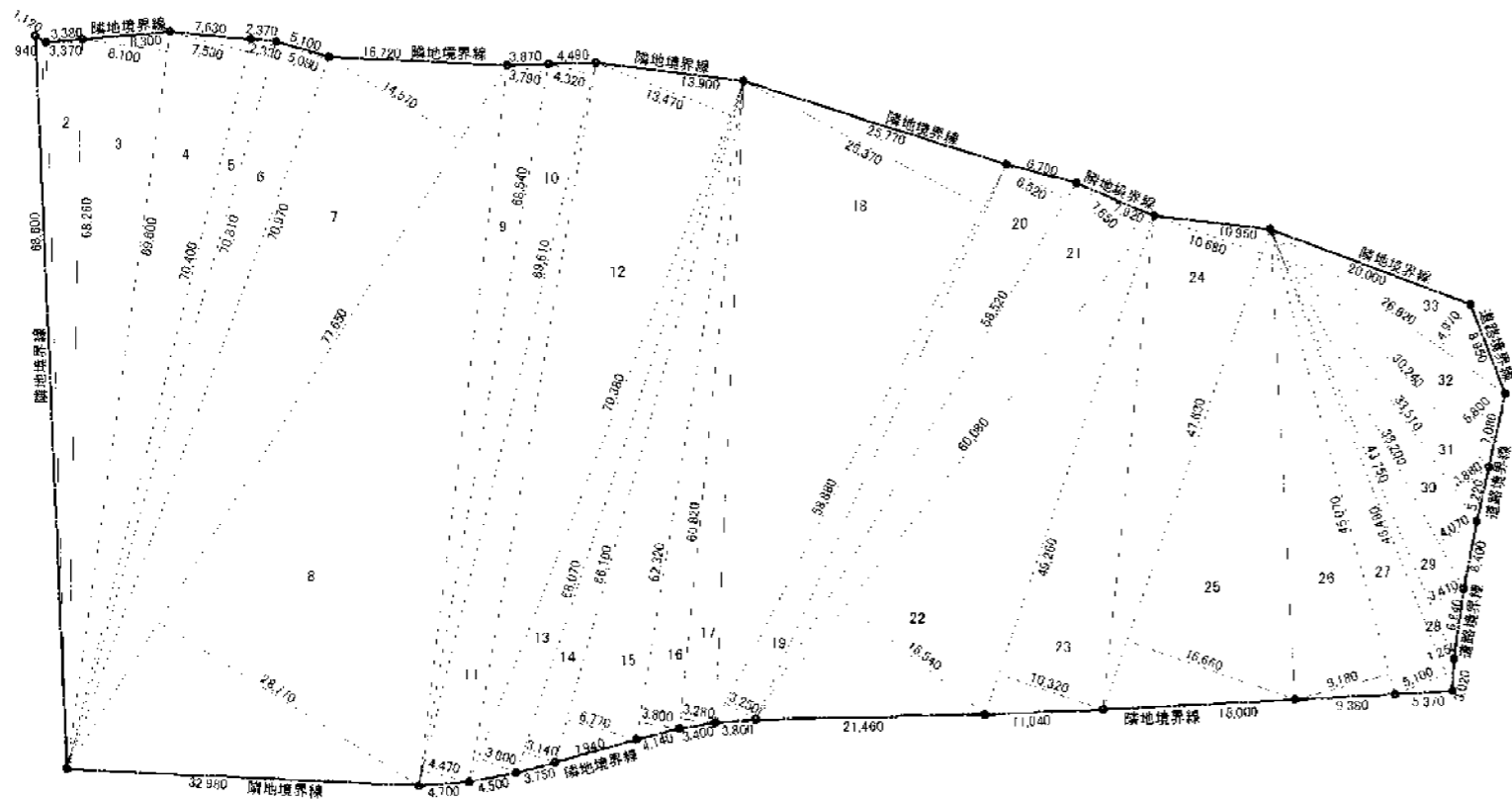


案内図



公図写

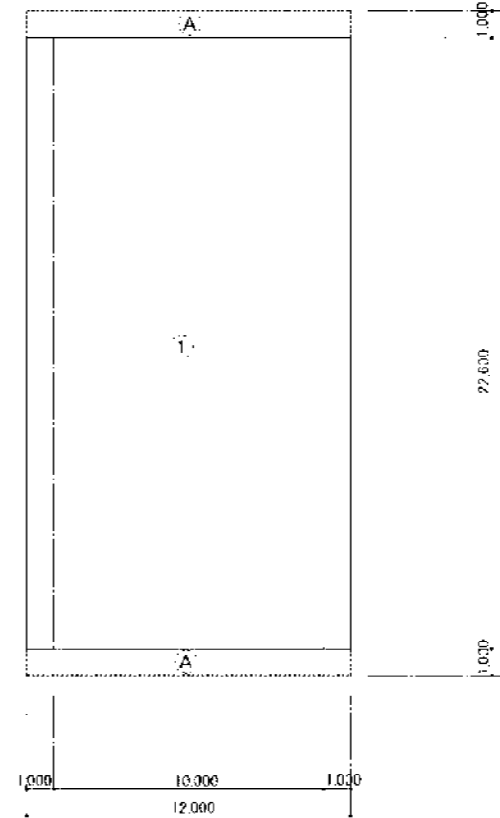
・静岡県伊豆の国市長者原宇板橋1241-65の一部
 ・静岡県伊東市宇佐美宇龜石3494-1-3-6-7-16の一部



敷地求積図 1/500

三斜求積表

NO.	底辺	高さ	倍面積	NO.	底辺	高さ	倍面積
1	68.6	0.94	64.484	21	60.08	7.65	459.612
2	68.26	3.37	230.036	22	60.08	16.54	993.723
3	69.6	8.10	563.76	23	49.26	10.32	508.363
4	70.40	7.53	530.112	24	47.63	10.68	508.688
5	70.81	2.33	164.987	25	47.63	16.66	793.515
6	70.97	5.08	360.527	26	45.07	9.18	413.742
7	77.65	14.57	1131.360	27	46.48	5.10	237.048
8	77.65	28.77	2233.980	28	46.48	1.25	58.10
9	68.54	3.79	259.766	29	43.75	3.41	149.187
10	69.61	4.32	300.715	30	38.20	4.07	155.474
11	69.61	4.47	311.156	31	33.51	3.86	129.348
12	70.38	13.47	948.018	32	30.24	5.80	175.392
13	70.38	3.80	267.444	33	26.82	4.97	133.295
14	68.07	3.14	213.739				
15	66.10	6.77	447.497				
16	62.32	3.80	236.816				
17	60.82	3.28	199.489				
18	58.88	25.37	1493.785				
19	58.88	3.25	191.36	計			15246.08
20	58.52	6.52	381.55	1/2			7623.04 m2



建物求積図 1/200

面積表

1	12.0 × 22.6	271.20
	延床面積	271.20 m ²
	建築面積	271.20 m ²
A-A	12.0 × 1.0 × 2	24.0
1-1	1-1	295.20
	水平投影面積	295.20 m ²